令和3年度事業計画書

1 事業実施の方針

笠岡諸島を中心として、不特定多数の市民・団体の活動支援に関する事業等を行い、笠岡諸島の自立的発展を促進し、生活の安定及び福祉の向上に寄与することを目的に次の事業を実施する。

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日 | 実施予定場 所 | 従事者の 予定人数 | 受益対象者の範囲及び | 支出見込額 (千円) |
|---------------------------------------|--|--------|---------------------|--------------|--------------------------------|------------|
| 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | | | | |
| 北木小学校スクー ルバス運行及び給 食物資運搬事業 | 笠岡市からの委託により金 風呂地区以外に在住の児 童、生徒の通学及び学校教 育活動時における運行支援 及び給食物資の運搬 | 通年 | 北木島 | 1名 | 小学生3名 中学生1名 | 1,640 |
| 青少年海洋体験学 習事業 | 石切りの杜を拠点に島の 特性を生かした研修 | 夏季 | 笠岡諸島 | 3名 | 不特定多数 の青少年 約200名 | 3, 785 |
| 通所介護事業 | 介護保険法適用者を対象 に食事提供・入浴の介護 並びに機能訓練の実施 | 通年 | 白石島・北 木島・真鍋 島 | 25名 | 不特定多数 の要支援 要介護者 約70名 | 44, 445 |
| 青少年の島(梶子 島)管理運営事業 | 岡山県より指定管理を受け、施設の維持・管理業 務の遂行 | 通年 | 梶子島 | 3名 | 不特定多数 の青少年等 約200名 | 990 |
| 小中学生島体験学 習事業 | 岡山県の補助を受け体験 学習を通じて島への関心 等を醸成すると共に魅力 や課題等を提案し島の活 性化を図る。 | 7月~12月 | 北木島 | 5名 | 県内の不特 定多数の 小中学生 約500名 | 1, 400 |
| (2) IT技術活用等による情報発信や特産品開発等に関する事業 | | | | | | |
| PR事業・しまのこし 特産品販売事業 | ネット販売・道の駅・し まのこし等で笠岡諸島の 特産品をPR、販売 | 通年 | 市内一円 | 3名 | 不特定多数 の一般 約10,000名 | 6, 995 |
| 灰干し事業 | 笠岡諸島近海で採れた小 魚を三宅島の火山灰で加 工処理し販売 | 通年 | 北木島 | 3名 | 不特定多数 の一般 約200名 | 1, 176 |
| (3) 社会教育、文化、スポーツ、人権擁護等に関する事業 | | | | | | |
| 石切りの杜管理運 営事業 | 笠岡市より指定管理を受け、施設の維持・管理等 の業務遂行 | 通年 | 北木島 | 3名 | 不特定多数 の一般等 約1,900名 | 9, 390 |
| (4) 都市・漁村交流や安全・安心のまちづくり等に関する事業 | | | | | | |
| 公共交通空白地有 償運送事業 | 有償運送事業乗用車等を 使用して島内移送 | 通年 | 北木島 真鍋島 | 2名 | 不特定多数 の一般 約1,000名 | 1, 396 |
| 空き家対策事業 | 笠岡諸島の空き家所有者 と島暮らし希望者(島の 力)とのマッチング | 通年 | 笠岡諸島 | 3名 | 不特定多数 の一般 約15名 | 1,832 |
| 買い物支援事業 | 大手スーパーとの連携に よる買い物支援と見守り 活動事業 | 通年 | 北木島・真鍋島・六島 | 6名 | 不特定多数 の一般 約50名 | 850 |
| 駐車場事業 | 伏越港・住吉港に笠岡諸 島を往来する人のための 駐車場運営 | 通年 | 伏越港・住 吉港周辺 | 2名 | 不特定多数 の一般 約60人 | 1, 275 |
| 下浦海水浴場運営 事業 | 下浦海水浴場と海の家 「海ほたるの」運営 | 7月~9月 | 北木島 | 2名 | 不特定多数 の一般 約500人 | 545 |